

【提出様式】 令和6年度 豊島区立学校 学校評価 自己評価表

豊島区立 椎名町小 学校

評価対象者数 (人)			
児童・生徒数	保護者数	教職員数	地域の方
410	189	19	22

領域	豊島区教育 ビジョン 2019 基本方針等	評価 番号	評価項目	年間評価																学校関係者による評価		次年度に 向けた 改善策			
				児童・生徒				保護者					地域					教職員		自己評価 概要	学校関係者 評価の意見		標 語		
				4	3	2	1	4	3	2	1	0	4	3	2	1	0	4	3					2	1
I	就学前から小学校・中学校への円滑な接続	I－1	学校は、関係諸機関等(保育園や幼稚園、小学校、中学校)と連携を図ろうとしている。																			・保幼小の連携については、南長崎幼稚園児と2年生が学校園でサツマイモ掘りを行った。 ・近隣保育園・幼稚園と連携をして1年生と学校紹介を行い、7園70名の園児が参加し実施することができた。 ・幼稚園と小学校、区民ひろば椎名町と連携をしてアート展の共同開催を行い800名を超える方々に参観していただくことができた。	・推小・南長崎幼稚園は緊密な連携がうかがえる。幼小連携しての教育活動は児童の心の教育にもなる。 ・小学校を卒業した児童が元気に、仲良く話しながら中学に通っている姿が印象的である。	A	・南長崎幼稚園、明豊中との連携は、校内研究とも関連させ引き続き計画的に取り組み、充実を図る。 ・近隣幼稚園・保育園との連携をより密に行っていく。保幼小中連携取組については、積極的に発信する。
II	確かな 学力の育成	II－1	学校は、子どもの学力の定着・向上のために、分かりやすい授業を行っている。	児 童 ・ 生 徒 を 対 象 と し た ア ン ケ ー ト 集 計 表 を ご 参 照 く だ さ い 。	54	118	3	1	13	8	10	0	0	4	4	15	0	0	・区の研究発表と絡めてタブレット端末等のICTを毎日、計画的・効果的に活用し、分かる・楽しい授業の実現と児童の情報活用能力の育成を図った。 ・能代市連携校や登米市立新田小とのオンラインによる交流、協働学習も新たに実施した。 ・6年生によるプログラミング学習の成果を保護者に発表し、学びの意欲がさらに高まった。	・研究発表会での児童のICT活用姿が素晴らしかった。よりしっかりと指導をお願いしたい。 ・先生が常に児童の中に溶け込んで指導しているのが良い。	A	・日々の授業における個別最適や協働的な学びについてさらに教材研究を深め、「分かる、できる、楽しい」授業の実現をめざし、授業改善に努めていく。 ・区の研究指定校で取り組んだICT活用を各教科に広げ、授業の狙いに応じたICT活用の充実を図っていく。る。			
		II－2	学校は、ICT機器やタブレット端末等の活用により、分かりやすい授業の実施や子どもの学びの意欲の向上に取り組んでいる。		91	91	5	0	2	12	8	0	0	2	11	8	0	0	・道徳科の授業等、子供たちが親切、思いやりなどを学習し身に付けている。 ・日々の子供たちとの関わりの中で、相手の思いや立場について知ることを丁寧に重ねていると思う。 ・授業の中に視覚に訴えるドキュメンタリーを見てのワークショップなどを取り入れ、視覚や肌感覚からの学びも効果的かと思う。	B	・道徳科の時間については、子供たちの心が豊かになるように、動作化や役割演技、ICTや映像など様々な手立てを取り入れた指導を工夫する。 ・日常の教育活動において、友達や家族、教職員など、他者に対する思いやりや優しい心についての指導を重ねていく。				
III	豊かな 心の育成	III－1	学校は、道徳科の時間を含めた全教育活動をとおして、互いの良さを尊重し合う温かい学校づくりを推進している。		50	110	6	1	22	8	11	0	0	3	5	14	0	0	・道徳科の学習については「親切、思いやり」「友情、信頼」を重点とした。 ・道徳授業地区公開講座では、高学年の特別授業に加え、「受援力」をテーマに講演会を実施した。	・道徳科の授業を中心に各教科や特別活動、生活指導、全校朝会など様々な場面で豊かな心の醸成を図った。	A	・ストレッチタイムや体力づくり週間(ベース走と縄跳び)の継続・発展に取り組み、運動の日常化を図る。 ・体育学習の充実、体力テストを活用した特別授業、がん教育など、給食指導等を通じた食育などを行い、体力向上、健康の保持増進を目指す。 ・給食指導については、給食主任や栄養士を中心にさらに充実させ、指導の徹底を図る。			
		III－2	学校は、生命を大切に する態度や思いやり、優しい心を育てている。		81	90	4	1	13	10	10	0	0	2	5	14	0	0	・運動の日常化に向けた毎週のストレッチタイム、食育の特別授業、季節や行事の給食メニューなどが充実している。 ・安全面の配慮のバランスがとても難しい。中休みなど遊びの時間も有効に大切にしているのがよく分かる。 ・良い取り組みだと思う。自分の体の様子を自分が知ることが大切(いつもより走れてない…、寝不足か、など)	B			・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。		
IV	健やかな 体の育成	IV－1	学校は、子どもの体力向上や健康の促進に、積極的に取り組んでいる。		81	93	10	0	5	10	10	0	0	2	5	14	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	A	・学校だより等は原則としてオンラインによる発信とし、教育DX化も進めていく。ホームページ、タブレットなどによる多様な情報発信を引き続き行い、学校の様子をより分かりやすく伝えていく。 ・今後も町会の方や地域の文化財を活用し、体験的な学習を充実させ、「まちと響き合う教育」を推進していく。			
		IV－2	学校は、充実した食育指導を通して、健康教育に取り組んでいる。		91	89	2	1	6	9	11	0	0	2	4	14	1	0	・道徳科の授業を中心に各教科や特別活動、生活指導、全校朝会など様々な場面で豊かな心の醸成を図った。 ・能代市連携校や登米市立新田小とのオンラインによる交流、協働学習も新たに実施した。 ・6年生によるプログラミング学習の成果を保護者に発表し、学びの意欲がさらに高まった。	B			・道徳科の時間については、子供たちの心が豊かになるように、動作化や役割演技、ICTや映像など様々な手立てを取り入れた指導を工夫する。 ・日常の教育活動において、友達や家族、教職員など、他者に対する思いやりや優しい心についての指導を重ねていく。		
V	一人一人を大切に する 教育の推進	V－1	学校は、いじめ防止等(未然防止、早期発見、早期対応)に学校全体で組織的に対応している。		50	113	6	2	18	12	7	0	0	3	12	7	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	B	・引き続き、子供たち一人一人に寄り添い、丁寧な指導を心がける。小さな変化を見逃さないように教職員間のコミュニケーションを密にしていく。 ・いじめ防止等に教職員全員で取り組む。 ・特別支援教育については、担任との連携を深めるなど、充実を図る。学校便り、保護者会等で資料を用いて具体的に取組等を説明するなどして、引き続き情報発信に努める。			
		V－2	学校は、子ども達の気持ちを理解するために、一人一人に寄り添いながら、指導を行っている。		64	100	9	0	16	8	11	0	0	3	7	12	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。					
		V－3	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して、一人一人に適切な指導を行っている。		61	96	3	0	29	10	9	0	0	3	7	12	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。					
VI	教師力の向上と 魅力ある 学校づくり	VI－1	学校は秩序があり、子ども達は落ち着いて学校生活を送っている。		48	118	11	3	9	8	11	0	0	2	2	16	1	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	B	・児童の実態から学校のルールを見直し、全教職員、全学年で共通理解を図り、きちんと守るよう指導を重ね、さらに秩序ある学校生活を送れるようにする。 ・保護者や地域の方のご意見について、様々な方法で受け止め、一層丁寧に対応し協働体制の構築を図る。			
		VI－2	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かしている。		53	109	8	0	19	14	4	0	0	2	8	11	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。					
VII	家庭・地域との 連携	VII－1	学校は、学校や子ども達の様子を、学校だよりやホームページ、学校公開等によって、分かりやすく伝えている。		75	102	7	1	4	19	3	0	0	0	9	10	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	A	・学校だより等は原則としてオンラインによる発信とし、教育DX化も進めていく。ホームページ、タブレットなどによる多様な情報発信を引き続き行い、学校の様子をより分かりやすく伝えていく。 ・今後も町会の方や地域の文化財を活用し、体験的な学習を充実させ、「まちと響き合う教育」を推進していく。			
		VII－2	学校は、家庭や地域と協力しながら子どもを教育している。		96	90	2	0	1	14	6	0	0	2	10	9	0	0	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。	・いじめ対策委員会を毎月行ったり、いじめのアンケートや生活指導情報共有をしたりするなど積極的に学校が取り組んでいる様子が分かった。 ・いじめ防止についてはデリケートなことであり、絶えず気を配る必要があると思う。丁寧に関わっていただくことが引き続き大切であると思う。 ・保護者とのやりとりが本当に大変だと思う。お子さんの現状と保護者の思いとのギャップをどう埋めていくかが学校の役割であると思う。					
VIII	特色ある 教育活動	VIII－1	学校は、「椎小学びのサポーター」等、家庭・地域と連携し、SDGs達成の担い手を育成する教育を推進している。		83	93	2	0	9	14	6	0	0	2	8	11	0	0	・地域や「椎小学びのサポーター」の協働体制が充実し、計画的・実践的な学習が実現した。トキワ荘との連携、「区民ひろば」でのSDGs発表会や子供アート展の開催、地域・保護者による町探検などを行い、SDGs達成の意識を醸成することができた。	・地域や「椎小学びのサポーター」の協働体制が充実し、計画的・実践的な学習が実現した。トキワ荘との連携、「区民ひろば」でのSDGs発表会や子供アート展の開催、地域・保護者による町探検などを行い、SDGs達成の意識を醸成することができた。	A	・恵まれた地域の教育資源(トキワ荘、区民ひろば等の諸施設、伝統文化等や学校園)を活用し、引き続きSDGsの担い手を育成する教育活動を推進する。全校の活動予定をまとめて示し「椎小学びのサポーター」の活動を充実させ、より多くの家庭や地域の方と共に教育活動を推進していく。			
IX	働き方改革	IX－1	学校は、校務支援システムの活用や「チーム学校」を意識した業務分担等により、組織的に業務の効率化・最適化を目指して取り組んでいる。												8	11	0	0	・クラウド型校務支援システムの導入により、出欠管理や成績処理などの効率化を図ることができている。 ・デジタル掲示板を活用し、校内の伝達事項を効率化を図ることができている。	・教員業務が繁忙と報道されているが、業務を効率化することで児童に向き合う時間を増やしてほしい。 ・業務の外部委託など、仕事の役割分担をして効率化していったらいい。	A	・保護者連絡アプリを活用し、保護者連絡をより効率化するとともに、保護者にとっても簡単に欠席やアンケートが取れる体制作りを推進していく。 ・校内業務を見直すとともに業務をマニュアル化し、属人化を防ぐ			

※学校関係者による評価の評語は、自己評価結果について以下の視点で行う。 A 評価は妥当である B 評価はおおむね妥当である C 評価は妥当ではない D 評価方法を見直す必要がある